尿吸引ロボ

Humany

ヒューマニー

ヒューマニー・ハンドブック

（2012/3/20版）

１．ヒューマニー導入前のアセスメント

２．本体の基本的な取り扱い方法

３．トラブルの事前対処（運転音など）

４．尿モレや吸引トラブルの対応

(1)トラブル確認の流れ

(2)パッド装着の見直し

５．エラーの対応（ランプ点滅/アラーム）

(1)ランプの種類と内容

(2)[確認]ランプが点滅している場合

(3)確認ランプに[２]が点滅する場合

(4)本体各部の点検

６．お手入れの方法

(1)尿タンクとチューブの洗浄

(2)吸引力の確認方法

(3)水抜きタンクのお手入れ

７．肌ケアの方法

(1)陰部の洗浄

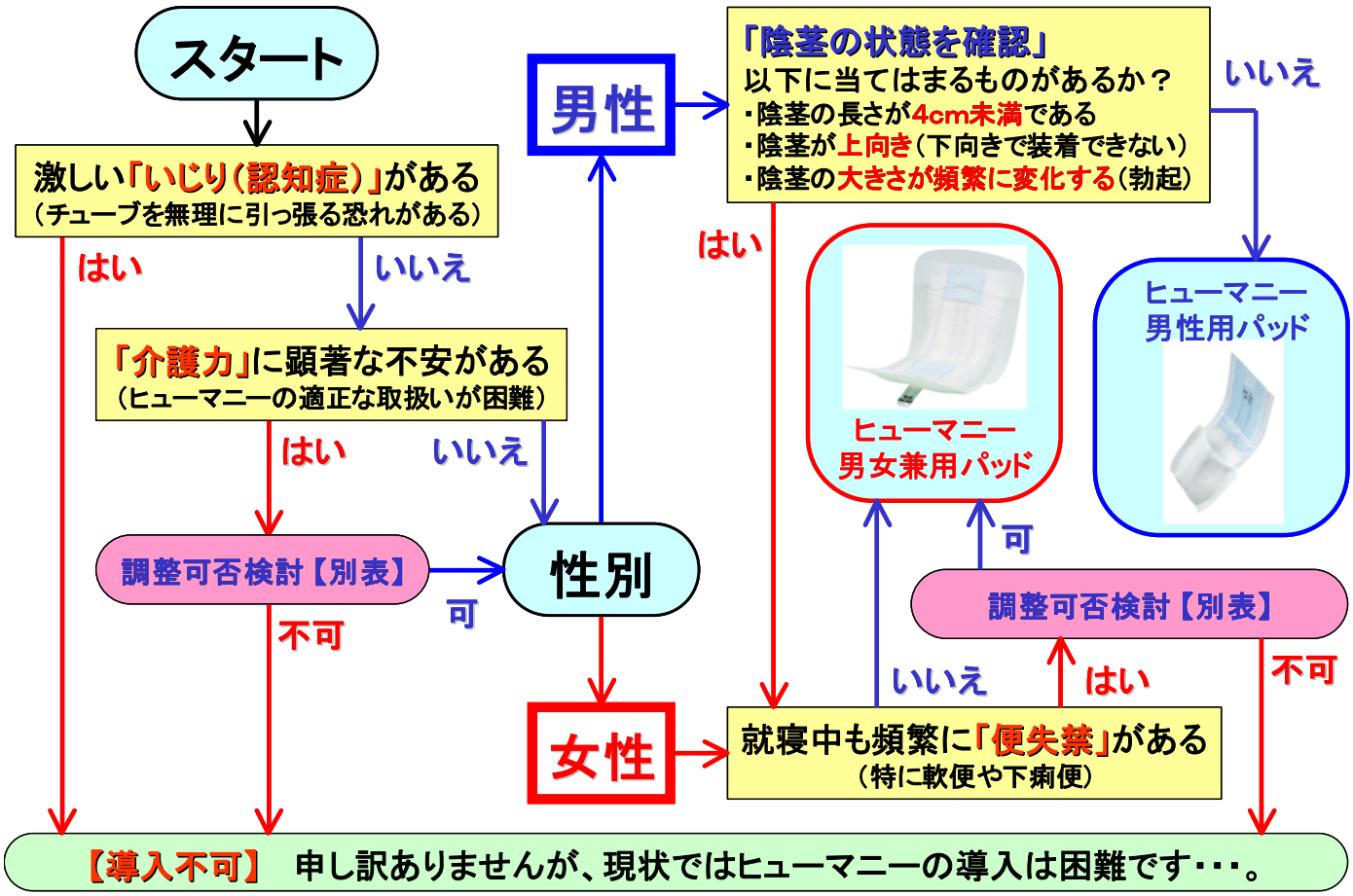
(2)パッドの洗浄

[補足] (1)本体各部の名称　(2)チューブタンクセットの取り付け方

ユニ・チャーム ヒューマンケア株式会社

1．ヒューマニー導入前のアセスメント

※パッドの装着方法については、製品に付属の取扱説明書「①初めてお使いいただく方のために」をご覧ください。



項 目	検討内容
介護力	・ヒューマニーを使用するには「本体の操作（タンク交換など）」と「パッドの装着」など正しく取り扱っていただくことが必要です。 ・ご家族での取り扱いが難しい場合は、訪問介護（ヘルパー）の導入・見直しと合わせてのご検討をお願いします。
便失禁	・就寝中に便失禁が無ければ「夜間利用」は問題ありません。 ・下剤などで「排便のコントロール」ができていれば、普通の紙おむつとの「使い分け」でヒューマニーを活用することができます。 ・「男性用パッド」の場合は、尿と便を完全に分離できるので、便失禁があっても基本的には問題ありません。 （便失禁用のパッドを追加するなどしてご使用ください）

※「いじり」や「認知症」について

・使用中にチューブを強く引っ張ってしまう恐れがある場合は、ヒューマニーの使用は困難です。
・軽度の「いじり」や「認知症」であれば使用できますが、使用中にチューブが抜けたり、パッドがズレたりしないように注意してください。（チューブをパッドに粘着テープで固定するなど工夫してください）

２．本体の基本的な取り扱い方法

本体のセット

①電源を入れます。

1.本体の後ろ側に電源アダプターを接続して、コンセントに差し込んでください。

2.本体の右下の部分に電源スイッチがあります。
ふたを開けて、スイッチを入れてください。
操作パネルの電源ランプが点灯することを確認してください。電源が入るとアラーム音が鳴りますが、問題はありません。

尿吸引パッドを接続するとアラームは鳴り止みます。また、「アラーム一時消音ボタン」を押すと、アラームを10分間停止することができます。

②尿タンクをセットします。

1.尿タンクのフタをマークに合わせて入れ、右に止まるまで、回して閉めます。このときマークの位置まで確実に締まっていることを確認してください。

2.尿タンクを本体にセットします。
このとき、タンクの取っ手が溝に入っていることを確認してください。

3.本体のフタを閉めます。
フタは「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めてください。最後にタンクカバーを閉じて本体のセットは完了です。

本体とパッドの接続

1.パッド裏側の「センサー」と「チューブの差し込み口」を確認します。

2.センサーと接続ケースを接続します。「開」の方向へスライドさせ、ケースを開き、センサーをケースの目印に合わせて入れます。このとき、ケース先端部分でケースと一緒にセンサーを指で押さえると作業が簡単です。

指でセンサーを押さえたままケースを閉めて、反対の手で「ロック」の方向に止まるまでしっかりスライドさせてください。

注意事項	完全にロックしないと、使用中にセンサーが外れてしまうことがありますので、ご注意ください。

3.尿吸引チューブをパッドの差し込み口に止まるまで差し込みます。

注意事項	しっかり奥まで差し込まないと、使用中に抜けてしまうことがありますので、ご注意ください。

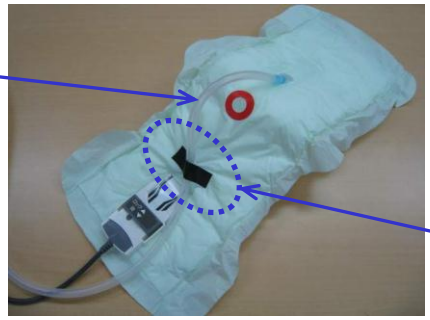
尿タンクの外し方

ご使用中は、できるだけ吸収した尿をこまめに捨ててください。タンクを外すときは、本体のフタをつまんで上に開けてください。

３．トラブルの事前対処

(1)チューブが抜けやすいとき(いじり・寝返り)

[いじり]や[寝返り(体動)]によって使用中にチューブがパッドから抜けてしまうことがあります。これを予防するためにはパッドの裏側でチューブを粘着テープでパッドにチューブを固定してください。このときチューブに適度なたるみを持たせることで、チューブが引っ張られても抜けにくくなります。



(2)チューブが肌にあたるとき(特にお肌が弱い方)

尿吸引チューブが肌に直接当たると、チューブが擦れて肌を傷つけてしまう恐れがありますので、必ずチューブが肌に直接当たらないようにしてください。
衣服で保護できない場合は、タオルやガーゼで肌を保護してください。

(3)運転音が気になるとき

就寝中など運転音(吸引音)が気になる場合は、以下の対処を行ってください。
①本体を固い床の上に直接置くと音が響きますので、本体の下に柔らかいマットなどを敷いてください。(吸収シートや新聞紙でも代用できます)
②本体全体を段ボール箱などでカバーすると、さらに運転音が小さくなります。

①下にマットを敷く

②全体をカバーする

(4)尿タンクの容量が足りないとき

①ヒューマニー本体は[標準品(容量1.0L)]と[1.2L仕様品]の選択ができます。
夜間多尿など尿タンク容量が不足する場合は[1.2L仕様品]をご指定ください。
(1.2L仕様品は800cc満水予告アラームが鳴りませんのでご注意ください)
②それでも容量不足の場合は、申し訳ありませんが以下の対応をご検討ください。
・できるだけ就寝直前や起床直後に溜まった尿を処分してタンクを空にする。
・予備にもうひとつ尿タンクを用意して、こまめにタンクを交換する。

４．尿モレや吸引トラブルの対応　(1)トラブル確認の流れ

ヒューマニー使用中の代表的なトラブルは[尿モレ]あるいは[吸引できない]といったことですが、以下のように様々な表現で連絡が入ります。

●尿モレしてしまった・寝巻き/ベッドまで濡れてしまった
●尿を吸引しなかった・タンクに尿がたまっていなかった
●吸引力が弱くなった・パッドに尿が残っていた・パッドが重くなっていた

いずれの表現であっても以下の内容を順番に確認して原因を特定してください。

①電源の確認

念のため本体の電源が正しく入っていたか確認してください。([電源]ランプが点灯)
⇒[１．本体の基本的な取り扱い方法]へ

②エラーの有無
(赤ランプ点滅/アラーム)

本体操作パネルのランプが赤く点滅しているときは、点滅表示にしたがい対処してください。
⇒[５．エラーの対処方法]へ

③吸引力の確認

本体の吸引力を確認し、吸引力が低下しているときは本体各部を点検してください。
⇒[６．お手入れの方法　(2)吸引力の確認方法]へ

④パッド装着の確認と見直し

①～③で問題がなかったら、パッドの装着を見直しすることで改善できる可能性があります。
⇒次ページをご覧ください。

●パッドが重たくなっているときは

パッドを交換するときに「パッドが重くなっているので、吸引できていないのではないか？」との問い合わせを受けることがあります。
このパッドは２重構造になっていて、外側ギャザーに流れた尿は吸引できずパッドに溜まるので、パッドが明らかに重くなっているときは、外側ギャザーのパルプ層に尿が吸収されていると考えられます。
いずれにしても、上記①～④の順番で確認を行ってください。

4．尿モレや吸引トラブルの対応　(2)パッド装着の見直し

[エラー(ランプ点滅/アラーム)は出ていない]ことと[吸引力は異常ない]ことが確認できたら、次は[パッドの装着]を見直してください。

●尿吸引パッドの構造

①吸引ゾーン：　中央の四角い白色シートの範囲(内側ギャザーの中)
②ブルーシート：　撥水シートなので尿を吸引することはできない
③吸引力の強さ：　お尻側に尿が集まるので、パッドの下半分の吸引力が強い
④２重ギャザー：　内側ギャザーの中の尿はタンクに吸引し、外側ギャザーに流れた尿はパッドの中に吸収される(タンクに吸引されない)

●尿モレの状況に応じたパッド装着の見直し

尿モレの状況に応じてパッド装着の見直しを検討してください。

状　況	パッド装着の見直し
後ろモレ	後ろ側(お尻側)に尿モレするときは、以下の見直しを検討してください。 ①パッドの位置を少し後ろ(お尻側)に調整する。 (ただし、後ろ過ぎて仙骨部に負担をかけないように注意する) ②お尻の下でパッドが体の中心から左右にズレないように注意する。 ③お尻の下でパッドにシワやヨレができないように注意する。
横モレ	足の付け根から横モレするときは、以下の見直しを検討してください。 ①肌とスキマができないようにギャザーを足の付け根に密着させる。 ②パッドが体の中心から左右にズレないように、パッドにシワやヨレができないように注意して装着する。 ③男性の場合、尿道口がパッドの吸引ゾーンから外に出ないように、性器は下に向けて、性器をパッドで縦に包んで固定する。
前モレ	前側(お腹側)に尿モレするときは、以下の見直しを検討してください。 ①パッドの位置を少し前(お腹側)に調整する。 (後ろモレしない範囲で、パッドはできるだけ前側の位置にあてる) ②男性の場合、性器は下に向けて、性器をパッドで縦に包んで固定する。

●パッドのズレを防止するためのポイント

せっかく正しい位置にパッドを装着しても、使用中にズレてしまったら尿がモレてしまいます。パッドのズレを防止するために以下の検討を行ってください。

①[伸縮ネット]を活用してパッドをしっかりと固定してください。
(特に[いじり]や[体動(寝返り)]のある方はパッドがズレやすくなります)
②紙おむつ(アウター)は体に合ったサイズを選んでください。
(アウターのサイズが大きいと中のパッドがズレやすくなります)

５．エラーの対応　(1)ランプの種類と内容

●ランプ点滅について

ヒューマニー本体が異常を感知するとランプが赤く点滅してお知らせします。
[赤]ではなく[緑]のランプ([電源][採尿中])は異常ではありません。

●アラームについて

エラー(ランプが赤く点滅)のときはアラームが鳴り続けます。
[アラーム一時消音]ボタンを押すとアラームを10分間停止できますが、10分後にエラーが解除されていないか別のエラーになると、再びアラームが鳴り始めます。

ランプ	内　容
[確　認]	各種エラーを数字(１～５・９)の点滅でお知らせします。 表示された数字にしたがい対処してください(次ページ参照) ●[確認]ランプが点滅中は、尿吸引することができません。
[タンク点検]	[尿タンク]または[水抜きタンク]の点検が必要なときに点滅します。 各タンクを空にして、タンクを洗浄してください。 ●同時に確認ランプに数字の[３]や[４]が点滅しているときは、 次ページをご覧ください。
[パッド交換]	パッドが便などで汚れている、または長時間パッドを交換していないなど、パッドの交換が必要なときに点滅します。 ●同時に確認ランプに数字の[２]が点滅しているときは、 次ページをご覧ください。

●以下のランプが緑色に点灯しても異常ではありません。

ランプの種類	内　容
[採尿中]	ポンプが運転しているときに点灯します。
[電　源]	正しく電源を入れると点灯します。 ⇒点灯していないときは、電源を確認してください。 [１．本体の基本的な取り扱い方法]をご覧ください。

●ランプ点滅していないのに吸引できないときは

ランプが点滅しないで尿吸引ができていない(尿モレする)ときは、パッドがうまく装着できていない可能性があります。
この資料の[２．尿吸引パッドの装着方法]や[４．尿モレや吸引トラブルの対応]を参考にしてパッドの装着を見直してください。

5．エラーの対応　(2)[確認]ランプが点滅している場合

「確認」ランプが点滅している場合

●「確認」ランプが点滅している状態では、尿吸引をすることができません。
表示された数字を見てエラーを解除してください。

表示	内容	吸引運転		対応	解除方法
		自動	手動		
1	パッドセンサー部と接続ケースが正しく接続されていない。	×	○	正しく接続してください。 [(1)本体の基本的な取り扱い方法]を参照	正しく接続すると自動解除 (2秒間のテスト運転)
2	尿吸引できていない。 (ポンプが動いても尿が吸引できていない状態)	×	○	尿吸引チューブ・尿タンク・水抜きタンクと各配管接続部を点検してください。 (次ページを参照)	パッドを交換すると解除(センサーを外したらしたら「1」点滅に移行)
3	尿タンクが満水 (尿タンクのフタのフロート弁が閉止状態)	×	×	尿タンクを空にしてください。	「満水クリア」ボタンを押す (2秒間のテスト運転)
4	水抜きタンクが満水、または水抜きタンクが正しくセットされていない。	×	×	水抜きタンクを空にして正しくセットしてください。	水抜きタンク検出スイッチが入ると自動解除
5	水抜きタンクセンサー(赤外線)に強い光があたって感知できない。	×	×	本体に強い光(直射日光など)があたらないようにしてください。	強い光があたらなくなると自動解除。
9	真空ポンプの異常 (モーターの断線など)	×	×	修理を依頼してください。	電源を切ると解除されるが、修理しないと再び発生する

※表示「5」と「9」は通常のご使用ではほとんど発生しません。

●確認ランプに[２]が点滅表示されている場合は、
次ページ以降の内容を順番に確認してください。
※[パッド交換]ランプが点滅する場合も同じ手順で確認してください。

５．エラーの対応　(3)確認ランプに[２]が点滅する場合

(1)タンクに尿が全く溜まっていない場合は、特に**「No.5」**を確認してください。
(2)「寝返り」や「いじり」など体動の激しい方は、特に**「No.6」「No.7」**を確認してください。
(3)長期間(概ね 1～2 ヶ月以上)使用している場合は、特に**「No.9」**を確認してください。
(4)尿が前に(お腹側に)モレやすい方は、特に**「No.10」**を確認してください。

No.	確認項目	対　応
1	パッドに便やオリモノなどの汚れが付着していませんか？	新しいパッドに交換してください。 (パッドが目詰まりするとエラーになります)
2	パッドの表面に尿中の固形分(濁り成分)が堆積していませんか？	
3	同じパッドを 24 時間以上使用していませんか？	同じパッドを長時間使用したり、何度も繰り返して使用したりすると吸引力が低下してエラーの原因になります。少なくとも1日に1回は新しいパッドに交換してください。同じパッドを 12 時間以上使用するときは「パッド洗浄」を行ってください。
4	同じパッドを何度も繰り返して使用していませんか？	
5	本体は正しくセットされていますか？ (チューブ・タンク　等)	**取扱説明書の 26 ページ**にしたがい各部を点検してください。
6	ご使用中にチューブが潰れたり折れ曲がったりしていませんか？	特に寝返りや「いじり」など体動の激しい方は、ご使用中にチューブが折れ曲がったり緩んだりしないようにご注意ください。
7	ご使用中にパッドに差したチューブが抜けたり緩んだりしていませんか？	
8	パッドを体に正しく装着できていますか？ (お尻に敷き込み過ぎていませんか？) (無理に変形させていませんか？)	パッドをお尻に敷き込み過ぎたり、無理に変形させたりするとパッドに残る尿の量が増えて誤動作の原因になります。正しくパッドを装着してください。
9	チューブの中に尿石などの汚れが溜まっていませんか？	チューブ内に汚れが溜まると吸引力が低下します。尿石がこびりついている場合は「クエン酸」を使用して洗浄してください。
10	接続ケース(センサーコネクター)が濡れていませんか？ (パッドのセンサー部を接続ケースからはずしても確認「1」が点滅表示されない)	電極に水分が付着していると誤動作を起こすことがあります。接続ケースはよく乾かしてからご使用ください。
11	ポンプの吸引力が低下していませんか？ (吸引力の確認をしてください**⇒別紙**)	吸引力が低下しているときは、**取扱説明書の 26、31 ページ**にしたがい点検してください。

５．エラーの対応　(4)本体各部の点検

●以下の場合には本体各部を点検してください。

・パッドを繋がずチューブ先端から手動運転で水を吸引させて、吸引が弱いとき（または吸引できないとき）

・[パッド交換]や確認[２]のランプが頻繁に点滅するとき

※詳細は本体に付属の[取扱説明書]をご覧ください。

No.	点検箇所	点検内容	処置
1	尿吸引チューブ	①先端のジョイントはパッドの差し込み口に奥まで差し込んでありますか？	止まるまで差し込んでください。
		②チューブが折れ曲がったり潰れたりしていませんか？（本体背面、布団の中、ベッド柵周辺）	折れ曲がったり潰れないように位置を調整してください。
		③チューブの中が尿石などで汚れていませんか？	クエン酸などでチューブの中を洗浄してください。
2	尿タンクのフタ	①フタが正しく閉まっていますか？（マークが合う位置まで回してありますか?）	フタがマーク位置に止まるまで閉めてください。
		②フタ上面の吸引口に汚れや異物はありませんか？（白い析出物が付着していることがあります。）	汚れをふき取ってください。異物は取り除いてください。
3	尿タンク	①タンク口のパッキンに汚れや異物はありませんか？	汚れをふき取ってください。異物は取り除いてください。
		②タンクの取っ手を本体底の凹の位置に合わせていますか？	位置を合わせて正しくセットしてください。
4	本体のフタ	①「カチッ」と音がするまで閉めていますか？（本体上面と段差ができていませんか?）	「カチッ」と音がするまでしっかり閉めてください。
		②本体のフタ裏側のパッキンに汚れや異物はありませんか？（白い析出物が付着していることがあります。）	汚れをふき取ってください。異物は取り除いてください。
5	本体フタカバー	カバーが外れていませんか？（カバーとフタに隙間ができていませんか?）奥側のつめ(2カ所)は正しく入っていますか？	「カチッ」と音がするまでしっかり閉めてください。カバーとフタに隙間がないことを確認してください。
6	吸気チューブ（AおよびB）	各ジョイントは奥まで差し込んでありますか？	各ジョイントを止まるまで差し込んでください。
7	水抜きタンク	タンクとフタの凹凸に合わせて奥まで差し込んでありますか？	タンクとフタの凹凸を合わせて止まるまで差し込んでください。

6．お手入れの方法　(1)尿タンクとチューブの洗浄

尿タンクの交換と洗浄

尿タンクに溜まった尿はこまめに点検して捨ててください。
尿が約800cc溜まると、ランプが点滅してアラームが鳴ります。さらに、約1Lまで溜まると安全のため吸引を停止します。
（「確認」ランプに「3」が表示されアラームが鳴ります。）

1.尿タンクを外すときは、本体のフタをつまんで上に開けます。尿タンクは必ず取っ手を持って持ち上げてください。

2.タンクのフタを左に回して外し、中の尿を捨ててください。

3.タンクとフタは、水またはぬるま湯ですすぎ洗いしてください。タンクのフタ上面の吸引口には汚れが付着しやすいので、ティッシュや綿棒、やわらかいスポンジで汚れを拭き取ってください。

●タンク内にこびり付いた尿石を落とすにはクエン酸溶液（約５％）で漬け置き洗いする。
⇒汚れがひどいときはしばらく放置してから柔らかい柄付きのブラシやスポンジで尿石をこすり落としてください

尿吸引チューブの洗浄

バッド交換のたびに尿吸引チューブを洗浄してください。

1.尿タンクを空にしてください。

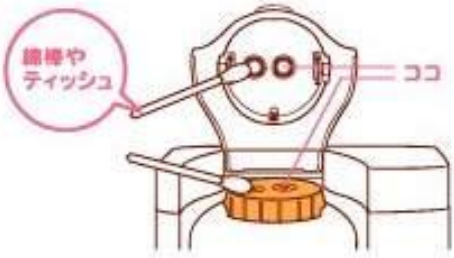
2.適当な容器を準備して、水またはぬるま湯を200cc程度入れてください。

3.手動運転ボタンを押して、吸引を開始します。

4.チューブ先端を容器に入れて、吸引させてください。

5.吸引が終わったら、尿タンクに溜まった液を捨ててください。

6.本体のフタ裏側にある黒いパッキンには汚れが付着しやすいので、ティッシュや綿棒、やわらかいスポンジで汚れを拭き取ってください。



●「尿石」の落とし方

チューブ・尿タンク・パッキンに「尿石」（白く固まってこびりつく汚れ）が付着することがあります。
尿石が付着したままお使いになると、吸引が弱くなったり、吸引ができなくなってしまう恐れがあります。
尿石を落とすには「クエン酸」が有効ですので、粉末のクエン酸を約５％の濃度で水に溶かして洗浄液を用意し、こびりついた尿石を落としてください。（尿石がひどい場合は、月２回くらいが目安です）

注意事項	●チューブ洗浄の際、泡を吸引して故障の原因になることがありますので、中性洗剤など泡立ちする洗剤は絶対に使用しないでください。 ●クエン酸は「酸性」ですので、いわゆる「ハイター」など「塩素系の洗剤」と混ぜると塩素ガスが出て危険ですので、絶対に混ぜないでください。

６．お手入れの方法　(2)吸引力の確認方法

[チューブの洗浄]と同じ要領で、チューブの先端から[20秒間]連続で吸引させたときの尿タンクにたまった水量で吸引力を確認します。

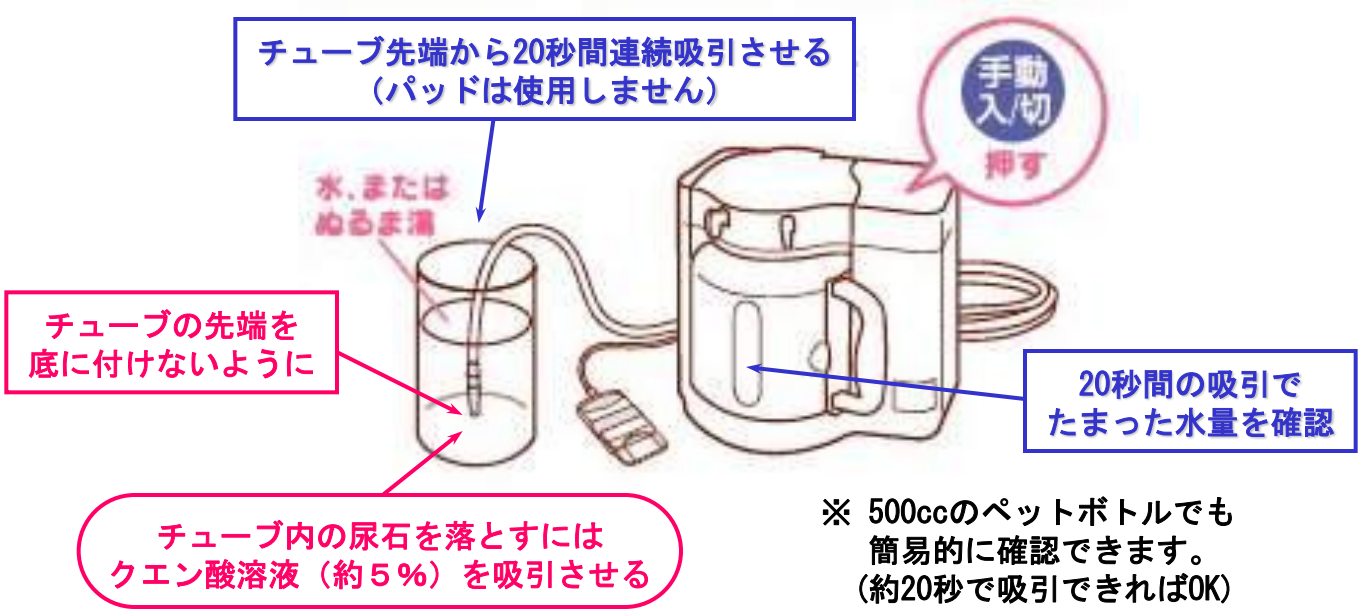
●確認手順

①適当な容器に水を約１リットル準備する(普通の水道水で可)
②尿タンクを空にする。
③本体の電源を入れ[手動　入/切]ボタンを押してポンプを運転させる。
　(アラームは[一時消音]ボタンを押すと10分間停止できます)
④尿吸引チューブの先端(パッドに差し込む水色のジョイント部)を
　水の中に入れる(吸引パッドは使用しません)
　{注意}このときチューブ先端を容器の底や壁に付けないようにしてください。
⑤そのまま20秒間連続で吸引させて尿タンクにたまった水量を確認する。
　水量が500cc（タンクの下から２番目と３番目の目盛の間）を超えればＯＫ

・500cc以上（下から２番目と３番目の目盛の中間を超えている）→ 吸引力は問題ありません

・500cc未満（下から２番目と３番目の目盛の中間を超えない）→ 念のためもう一度確認してください

・繰り返して確認しても500cc未満（タンクの下から２番目と３番目の目盛の中間を繰り返し超えない）→ 吸引力が低下しています。[５．エラーの対処方法]の[(4)本体各部の点検]にしたがい各部を点検してください。



※ 500ccのペットボトルでも簡易的に確認できます。
(約20秒で吸引できればOK)

チューブ内の汚れ(特に尿石)が原因で吸引力が低下することがあります。
尿石の除去には[クエン酸]が有効です。約５%のクエン酸溶液を500cc程度準備し、上記の要領で繰り返し吸引させてください。一度で落ちない場合は、同じ溶液を繰り返し吸引させてください。クエン酸で汚れが落ちない場合は[重曹]が有効な場合もあります。それでも汚れが落ちない場合は、チューブを取り外してつけ置き洗いするか、新しいチューブに交換してください。

６．お手入れの方法　(3)水抜きタンクのお手入れ

●水抜きタンクのお手入れは１～２週間に１回が目安です。

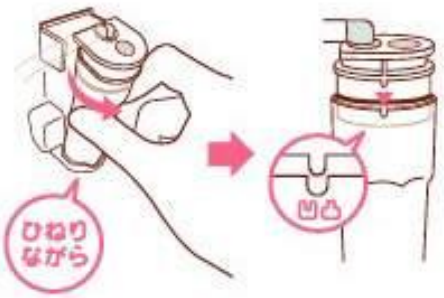
水抜きタンクのお手入れ

本体の後ろ側に付いている「水抜きタンク」には、尿の蒸気が結露して、徐々に水分が溜まってきます。

「洗浄 目安」のマークまで（約15cc）水が溜まると、安全のため吸引を停止します。（「確認」ランプに「4」が表示されアラームが鳴ります）こうなる前に、週1回を目安に水抜きタンクを空にしてください。

1.水抜きタンクを外すときは、まず、タンク上面の手前にあるチューブを上に引き抜きます。

2.次に緑色のジョイントを手前に引き抜きます。



3.この状態でタンクの両側をつかんで、ひねりながらタンクを手前に外します。（緑色のジョイントが付いたチューブはタンクにつけたまま）
水抜きタンクを外した状態では、「確認」ランプ「4」が表示され、アラームが鳴ります。アラームは一時消音ボタンを押すと10分間停止することができます。

4.タンクのフタを上に開けて、中の水分を捨てます。

5.タンクは水またはぬるま湯ですすぎ洗いをして、水分を拭き取ってからセットしてください。

6.タンクとフタの凹凸を合わせて、フタをしっかり奥まで閉めます。

7.フタの平らな面の方向に合わせて、タンクの下から先に入れて押し込みます。

8.チューブを元通りに差し込んでください。（2ヶ所）

注意事項

- ●ヒューマニー本体と電源アダプターは、防水仕様ではありません。絶対に水をかけたり洗ったりしないでください。
- ●お手入れの際に洗剤や薬品を使用する場合は、必ず本体の取扱説明書をよくお読みになり、正しくお手入れを行ってください。

7．肌ケアの方法　(1)陰部の洗浄

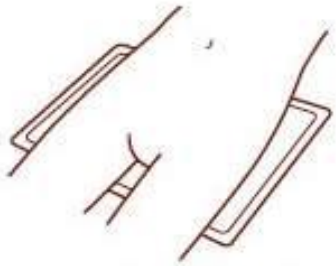
「尿吸引ロボ ヒューマニー」を使用する際の肌ケア方法について説明します。ヒューマニーは排尿のたびに尿を吸引しますが、肌やパッドの表面には若干の尿成分が付着し、時間の経過とともに肌へ悪影響を及ぼす恐れがありますので、毎日の肌ケアを確実に行うようにしてください。

①尿吸引パッドを交換するとき

尿吸引パッドを交換するときのお肌のケア方法を説明します。しき込み吸収シート、濡れタオル、おしり洗浄液を入れた洗浄ボトルを準備してください。「洗浄ボトル」の中で「おしり洗浄液」をワンプッシュ当たり100ccのお湯で薄めてください。

1.準備ができたら伸縮ネットを脱がせて、尿吸引パッドを体から外します。

2.体位交換をしながら、しき込み吸収シートをお尻の下に敷きます。

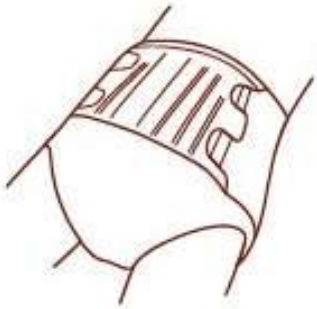


3.性器周辺を準備した、「濡れタオル」で拭きます。

4.体を横にしておしりに洗浄液をかけます。おしりに便が挟まっていることもありますので、おしりの割れ目も確認しながら丁寧に洗ってください。ヒューマニー おしり洗浄液は、すすぐ必要はありませんが、肌に残った水分は拭き取ってください。

以上で肌ケアは終了です。

●ヒューマニーを使用しない場合は、普段お使いの大人用紙オムツに交換してください。



7．肌ケアの方法　(2)パッドの洗浄

② 同じパッドを12時間以上使用するとき

同じパッドを12時間以上ご使用になる場合、12時間経過した時に前ページの「お肌のケア」と同時に、必ず「パッド表面の洗浄」を行ってください。
ここでは、パッド表面の洗浄方法について説明します。

1.伸縮ネットを膝までおろし、パッドを体から外します。
このとき、パッドに便が少しでも付着していたり、パッド表面の汚れが著しい場合には、必ず尿吸引パッドを新しいものに交換してください。

2.パッド表面の洗浄は、本体の接続ケースと尿吸引チューブをパッドに接続したままで行います。

3.パッド洗浄の前に、必ず尿タンクを空にしてください。

4.手動運転ボタンを押して、吸引を開始します。
「採尿中」ランプが点灯することを確認してください。

5.お湯、またはお湯で薄めたおしり洗浄液をパッドの「吸引ゾーン」にかけます。かける量の目安は100ccです。
吸収が終わったら、タンクに溜まった液を捨ててください。

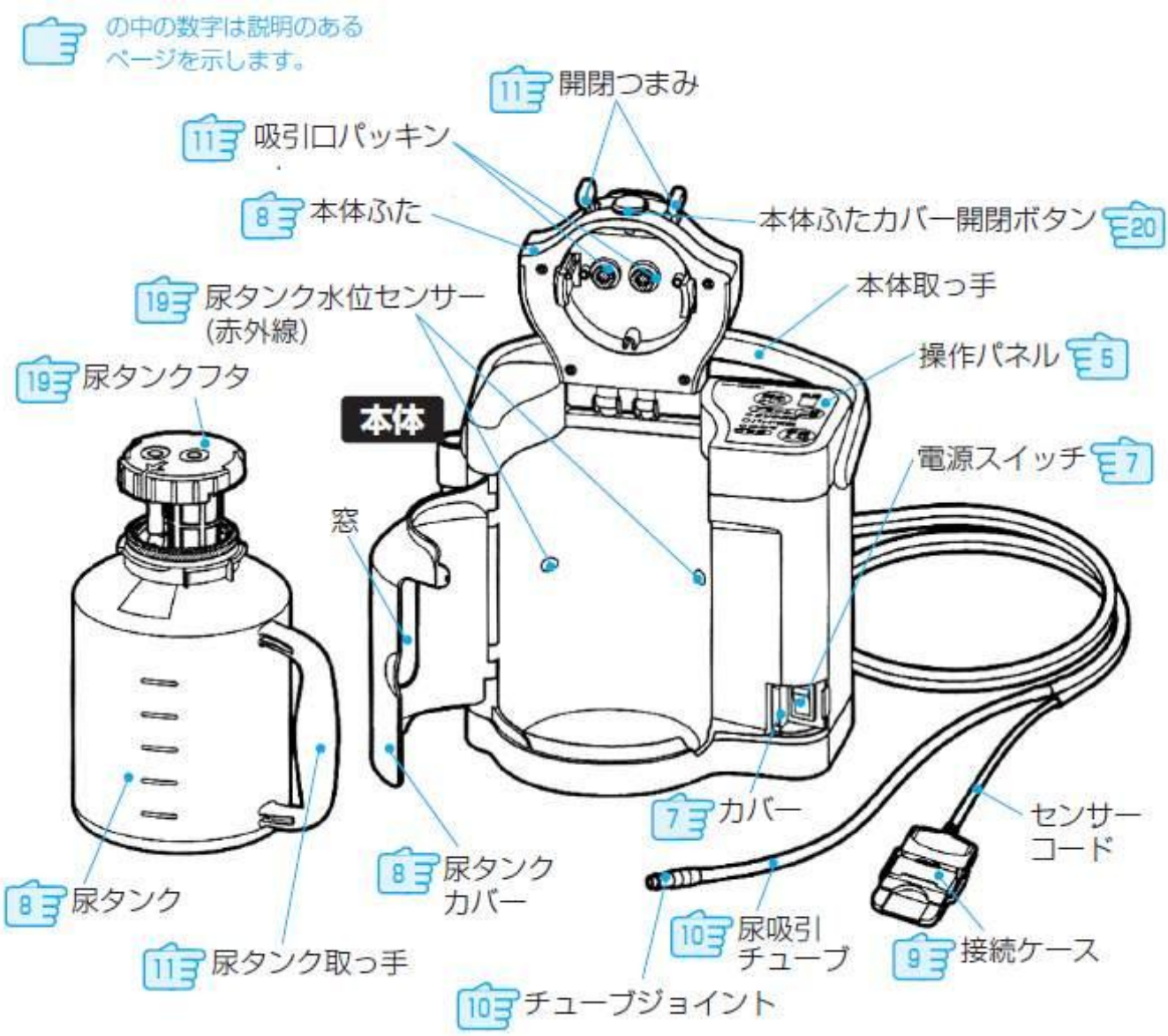
6.洗浄したパッドを再び体に装着します。ただし、洗浄を行っても表面の汚れが落ちないときは、新しい尿吸引パッドに交換してください。装着の前には、必ず前ページのお肌のケア洗浄を行ってください。

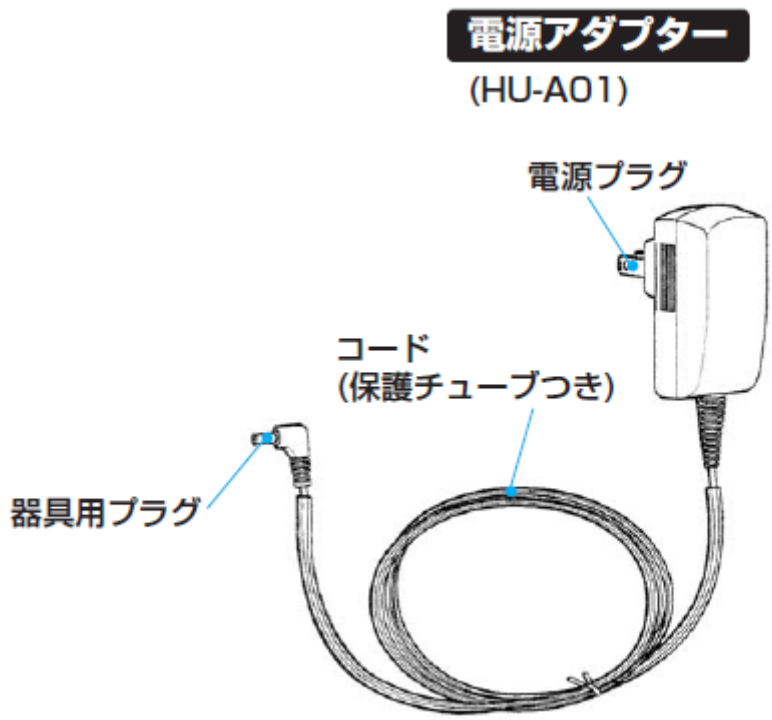
7.お肌ケアを行った後、パッドを体に装着して、伸縮ネットを引き上げて終了です。

注意事項

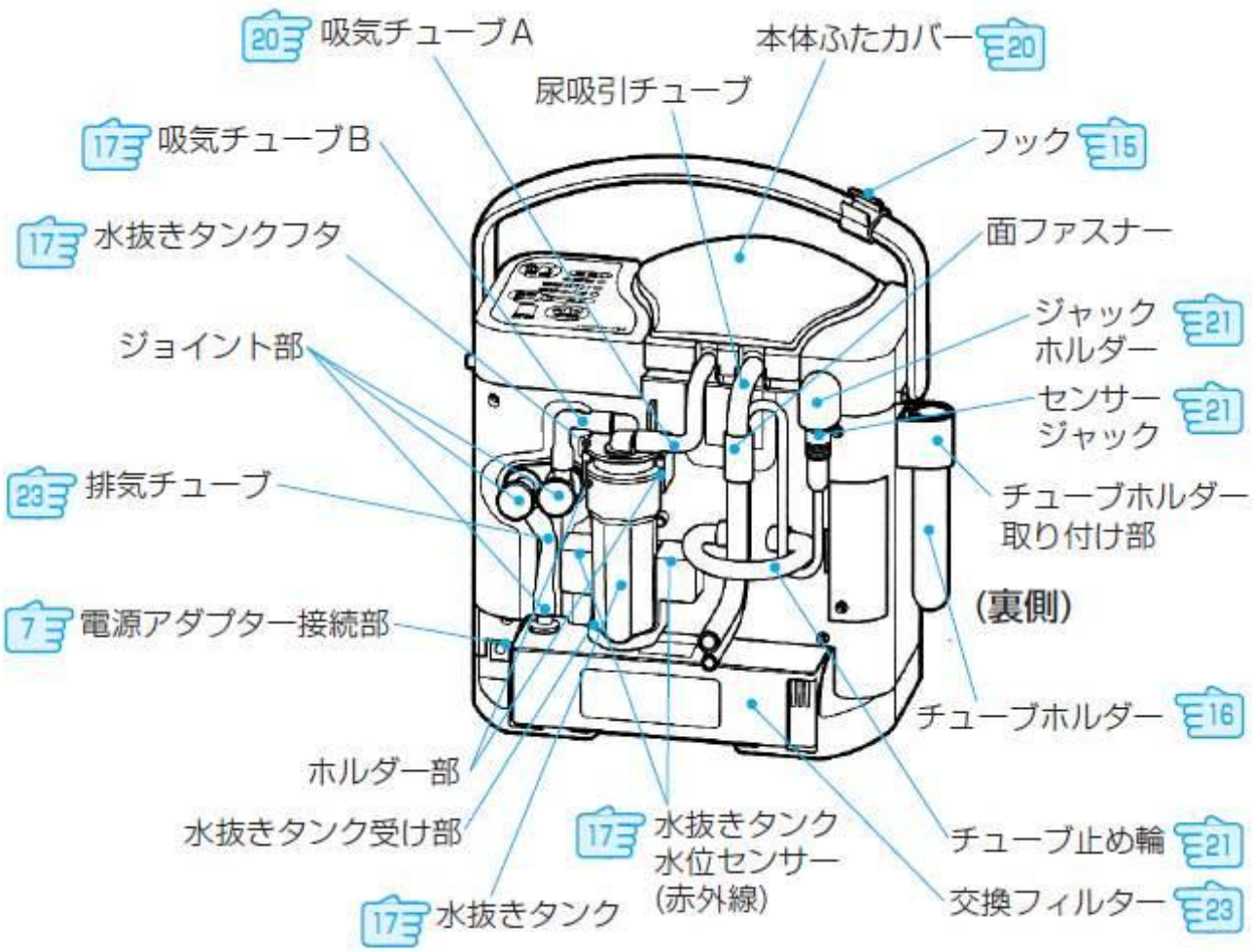
- 尿吸引パッドは使い捨てです。少なくとも1日1回は新しいパッドに交換してください。
- 肌トラブルの原因になる恐れがありますので、1日以上同じパッドを使い続けることや、使用済みのパッドを再利用することは「絶対に」おやめください。

[補足(1)] 本体各部の名称＜前面＞(数字は本体取扱説明書のページ番号)

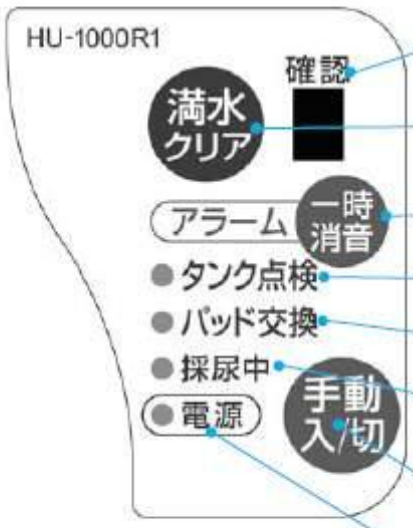




［補足(1)］本体各部の名称＜後面＞(数字は本体取扱説明書のページ番号)



操作パネル



なまえ	働き
「確認」ランプ	各種エラーを数字(1~5、9)の点滅でお知らせします。(25ページ参照)
「満水クリア」ボタン	満水エラー(確認ランプ3が点滅)の際、機器をリセットするときに押します。
「アラーム一時消音」ボタン	アラームを一時(約10分間)消音させるときに押します。
「タンク点検」ランプ	尿タンクまたは水抜きタンクの点検が必要なとき点滅します。
「パッド交換」ランプ	パッドの交換が必要なときに点滅します。
「採尿中」ランプ	ポンプが運転しているときに点灯します。
「手動入/切」ボタン	押すとポンプが運転し、もう一度押すか3分以上経過すると自動で停止します。
「電源」ランプ	電源を入れると点灯(緑)します。

付属品

※取扱説明書などの付属品はヒューマニー本体購入時に同梱されています。

[補足(2)] チューブタンクセットの取り付け方(1)

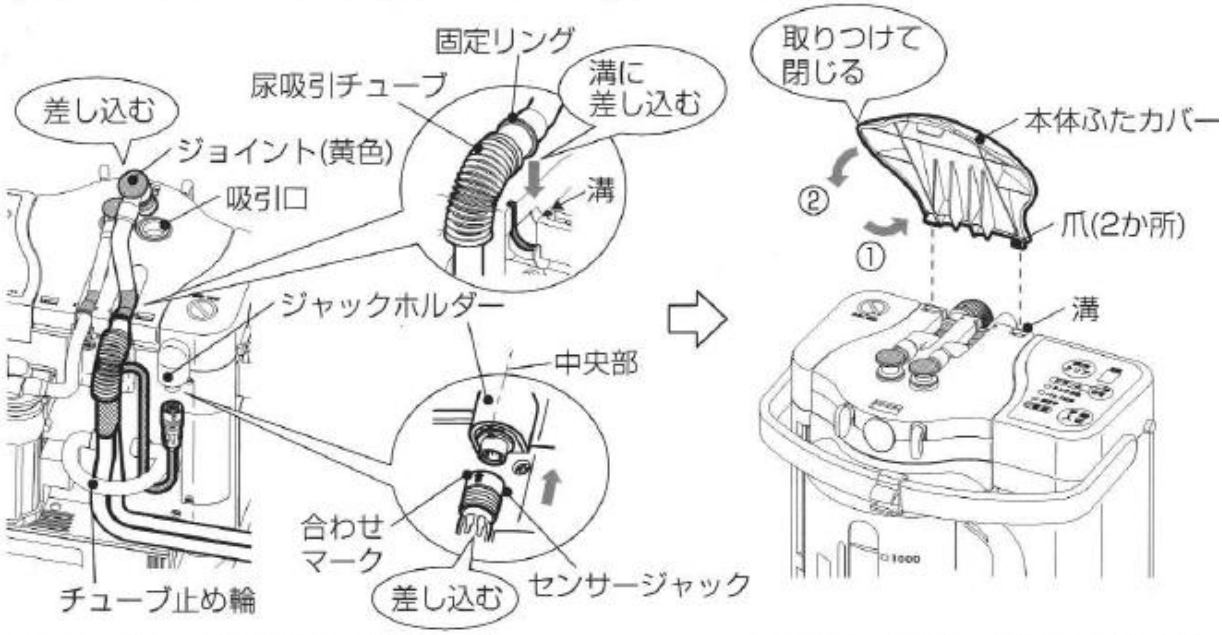
尿吸引チューブの取りつけ

(1)本体ふたカバーをはずします。

①本体ふたカバー開閉ボタンを押して、本体ふたカバーを開きます。

②本体ふたカバーの爪部を手前にはずすと上方に取りはずせます。

(2)尿吸引チューブ（接続ケース）を取りつけます。



①センサージャックを接続します。
- センサージャックの（⬆）マークをジャックホルダーの中央部に 合わせて接続してください。

②尿吸引チューブをチューブ止め輪の下から通し、ジョイント（黄色）を吸引口に止まるまでしっかりと差し込みます。
- 尿吸引チューブが折れ曲がったりつぶれないように注意してください。

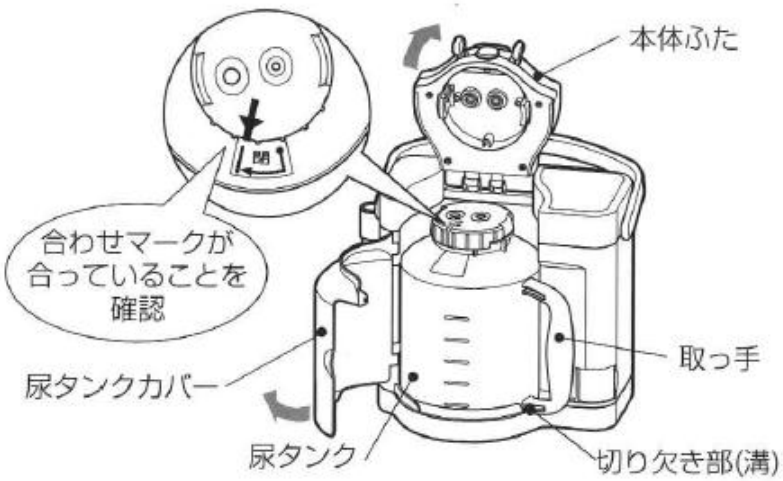
③本体ふたカバーの爪部（2か所）を本体の溝に取りつけ、本体ふたカバーを「カチッ」と音がするまで抑えて閉じます。

注 意

- センサージャックの接続が不十分な場合、確認ランプ「1」が消灯しません。
- ジョイントの差し込みが不足していますと吸引できません。しっかりと押し込んでください。
- 尿吸引チューブの固定リングは必ず本体の溝に差し込んで固定してください。

[補足(2)] チューブタンクセットの取り付け方(2)

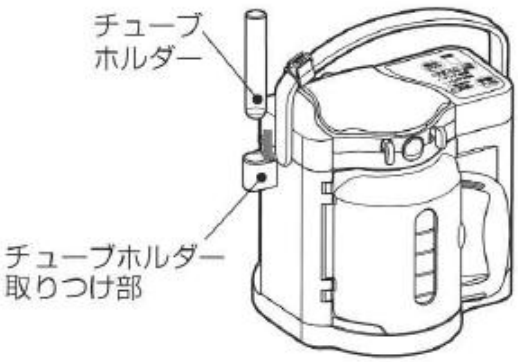
尿タンクの取りつけ



①本体ふたと尿タンクカバーを開いて尿タンクを取りつけます。
- 尿タンクの取っ手が本体右側の切り欠き部（溝）にくるよう取りつけます。

②尿タンクカバーと本体ふたを閉じます。
- 本体ふたは「カチッ」と音がするまでしっかりと押し下げます。

チューブホルダーの取りつけ



①チューブホルダーはチューブホルダー取りつけ部に差し込みます。

[補足(2)] チューブタンクセットの取り付け方(3)

動作の確認

ヒューマニー[本体]に取りつけ後、ヒューマニー[本体]の「取扱説明書」9ページ「電源アダプターの接続」、11ページ「接続ケースの取りつけ」にしたがい次の確認をしてください。

①尿吸引パッドの接続確認。

- 電源アダプタを接続し、電源スイッチを「入」にして、確認ランプ「1」を点滅させます。(アラーム音が鳴りますので、「アラーム一時消音」ボタンを押してアラーム音を停止させます。)
  尿吸引パッドを接続ケースに取りつけ、確認ランプ「1」の消灯を確認します。

②吸引確認。

- 空のタンクを取りつけ、手動運転でバケツなどの容器にためた水（水道水）を尿吸引チューブで直接吸引します。
  連続20秒間の吸引で、500~600ml吸引すれば正常です。

③尿タンク水位センサ、フロートセンサの確認。

- 吸引確認と同様に、手動運転で水を吸引し、約800mlでタンク点検ランプが点滅してアラーム音が鳴ることを確認します。
- 引き続き水を吸引して、約1000mlで確認ランプ「3」が点滅してポンプが自動停止することを確認します。（アラーム音は連続して鳴ります。）
- 尿タンクを本体から取りはずし、「満水クリア」ボタンを押して解除します。

※動作確認で、確認ランプが消灯しなかったり、点滅しない場合は、ヒューマニー［本体］の取扱説明書「『故障かな』と思ったときは」をご覧ください。

廃棄するときのお願い

ご使用済み「チューブタンクセット」の廃棄に際しては、お住まいの地域の条例などに従って処理してください。